

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
 C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－基本配付用】

令和元年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】実施報告書

(校園コード 672484)

※校園コードを入力してください。

学校名 田島中学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

学校関係者による評価実施済

1 配付額 850,000 円 → 決算額 768,942 円

2 配付上限額

学校配当	+	学級数	+	特別支援学級数	×	学級配当
350,000		6学級		4学級		50,000
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。						
配付上限額						
=	850,000					

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

<全市共通目標>
 ○平成31年度末の校内調査において、「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を90%以上にする。
 ○平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である『長座体前屈』の平均の記録を、前年度より1ポイント向上させる。
 ○平成31年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
 <学校園の年度目標>
 ○今年度末の生徒アンケートにおける「授業がよくわかる」と答える生徒の割合を80%以上にする。

目標に対する達成状況(取組完了時)

○生徒アンケート「学校のきまりを守っている」項目の肯定的意見は89%であった。年度目標(90%以上)をわずかに達成することはできなかったが、前年度の90%から継続して高い水準を維持している。
 ○今年度末の長座体前屈2年男女平均は47.44cmであり、昨年度の41.59cmより5.85ポイント向上し、目標を達成することができた。
 ○生徒アンケート「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるですか」に対して、肯定的意見は63%であった。前年度の62%を1%上回り、目標を達成することができた。
 ○生徒アンケート「授業がよくわかる」項目の肯定的意見は75%で、年度目標(80%以上)を達成することができなかった。

達成

B

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

- ①Hyper-QUアンケートを実施することで、好ましい人間関係や信頼関係を確立する集団を育成する。
- ②チームティーチングや習熟度別少人数授業を行い、基礎・基本の定着と、発展的内容の指導の充実を図る。
- ③学びサポーターを配置し、子ども一人一人の状況に応じた学力向上に取り組む。
- ④研修を行い、好ましい人間関係や信頼関係を確立する集団を育成する。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

- ①いじめアンケートを年間3回、Q-Uテストを実施し、生徒の実態把握を図るとともに、実態に基づいた指導を行う。
- ②英検IBAテストにおいて英検3級レベル以上の割合を大阪市平均よりも上回る。
- ③今年度末の生徒アンケートにおける「授業がよくわかる」と答える生徒の割合を80%以上にする。(前年度79%)
- ④平成31年度末の生徒アンケートにおいて、「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を90%以上にする。

指標に対する達成状況(取組完了時)

- ①いじめアンケートを、5月、10月、2月に、計画通り年間3回実施した。また、Q-Uアンケートも年間2回実施し、その結果を各クラスで分析シートにまとめ職員間で共有した。アンケートを行うことで、いじめの早期発見・対応ができた事案も見られた。
- ②IBAの結果は英検3級レベル以上の割合が58.3%と大阪市平均の54.0%を上回った。
- ③生徒アンケート「授業がよくわかる」項目の肯定的意見は75%で、年度目標(80%以上)を達成することができなかった。
- ④生徒アンケート「学校のきまりを守っている」項目の肯定的意見は89%であった。年度目標(90%以上)をわずかに達成することはできなかったが、前年度の90%から継続して高い水準を維持している。

達成

B

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

次の項目を学校の年度目標に、
 ・今年度末の生徒アンケートにおける「生徒会や委員会活動に積極的に参加している」と答える生徒の割合を70%以上にする。(前年度66%)
 ・今年度末の生徒アンケートにおける「あなたは時間を守って生活できていますか」と答える生徒の割合を70%以上にする。
 ・今年度末の生徒アンケートにおける「忘れ物をしない」と答える生徒の割合を80%以上にする。(前年度77%)
 以上を設定することで、生徒が学校の規則守る度合いを定量的に図ることとした。

【裏面に続く⇒】

